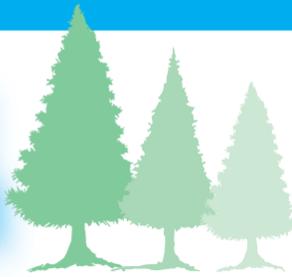


9ぎなみ



◆新年号◆

私たちの力を
地域のために

発行/杉並区
編集/広報課
〒166-8570杉並区阿佐谷南1-15-1

区の代表電話 3312-2111
FAX3312-9911 (広報課直通)
http://www.city.suginami.tokyo.jp/

平成24年10月1日、杉並区は
区制施行80周年を迎えます。

「区議会だより」が折り込まれています

未来へ 支えあい共につくる杉並区



▲民営化宿泊施設「富士学園」付近から見た富士山

区政発展に向けた 新たなスタートの年に

杉並区長

田中良



新たな一年の幕開けに際しまして、ご挨拶を申し上げます。

昨年は、東日本大震災という未曾有の大災害が国内外に甚大な影響を及ぼした年でありました。皆様には、杉並区が災害時相互援助協定を締結している南相馬市をはじめとする被災地支援に多大なるご支援、ご協力を賜り、改めて厚く御礼申し上げます。被災地では、今もなお、被災者の生活再建やまちの復旧・復興に向けた厳しい状況が続いています。区としましては、今後も可能な限りの支援を行っていく考えであり、引き続き皆様のお力添えをくださいますようお願いいたします。

区制施行80周年の節目の年

杉並区は、今年の10月1日に区制施行80周年を迎えます。昭和7年(1932年)に当時の杉並町、井荻町、和田堀町、高井戸町の4町が合併し、杉並区が誕生しました。当時の人口は、約14万6000人でした。以来、杉並区は、今日に至るまで良好な住宅都市として発展を続けて、現在では人口54万人を数えるまじになりました。全国の自治体数は約1700ありますが、人口が50万人を超える自治体はわずかに35自治体で、杉並区は29番目の大都市です。そのうち、横浜市や大阪市などの政令指定都市を除くと、10番目となります。本年は、こうした50万都市と

しての杉並区のさらなる発展に向けて、新たなスタートをする年です。

質の高い住宅都市杉並を
区民と共に築く

そのために、この間、区では、10年後を見据えた新たな基本構想(10年ビジョン)と総合計画(10年プラン)の策定に取り組みできました。昨年10月に、基本構想審議会は、「支えあい共につくる 安全で活力あるみどりの住宅都市 杉並」を将来像とする基本構想の案をまとめ、間もなく新たな基本構想の答申をいただく予定です。区では、基本構想の審議と並行して区が検討を進めてきた総合計画・実行計画についても、皆様からのご意見を参考に、計画をまとめいく所存です。こうして、今年の4月から、新たな基本構想と総合計画・実行計画に基づく取組みをスタートさせ、皆様と共に、誰もが住み続けたい、住んでみたいと願う、質の高い住宅都市杉並を着実に築き上げていきたいと考えています。

◇ ◇

区制施行80周年、そして新たな基本構想をスタートさせようという節目の年が、さらなる区政発展に向けた飛躍の年となるよう、全力を尽くしていくことをお約束し、新年のご挨拶といたします。

本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

ウォーキング・リーダー「NPO法人杉並さわやかウォーキング」

ウォーキングは認知症予防や介護予防に効果があるといわれています。ウォーキング・リーダーは、65歳以上の方を対象に、ウォーキングを広く地域に広めるため、ウォーキング講座や歩く会などを、区との協働により実施しています。「NPO法人杉並さわやかウォーキング」は、区とともにウォーキング支援を行っています。

「NPO法人杉並さわやかウォーキング」は、何か地域に貢献できることはないかと考えていた方や、昔から山歩きなどを動かすことが好きな方が「すぎなみ地域大学」の「ウォーキング・リーダー養成講座」で知り合い、この講座で、リーダーとして活動するために必要な知識や技能を習得した方たちで、24名の方が平成21年に立ち上げた団体です。団体の立ち上げ以降、毎年、すぎなみ地域大学のウォーキング・リーダー養成講座の修了者が加入し、現在では53名が在籍しています。

主な活動の1つは、65歳以上の方向けに区内10カ所の公園に集合し、そこから4～6kmを歩く「公園から歩く会」(1公園あたり90分程度)の開催です。「公園から歩く会」の参加者の平均年齢は約73歳で、80歳を超える方も参加しています。高齢者の健康への意識の高まりもあり、参加者は、開始した21年度は1回平均約30人、22年度は約50人、今年度は約70人と年々増えています。そして9割がリーダーです。これだけ参加者が増えた訳は、ウォーキング・リーダーたちのさまざまな工夫があるからです。

ウォーキング・リーダーたちは、「公園から歩く会」を開催する準備として、コースの下見を十分することはもちろん、ウォーキングは継続しないと効果がないので、継続できるように、参加者へシールを配り(1回1枚)、30枚集めると完



▲春の井草森公園で、桜と菜の花を見ながら歩きます



▲ウォーキング・リーダーの皆さん(前列左の方が理事長の児玉さん)

歩賞として「なみすけグッズ」を贈呈しています。また、季節を感じられるコースや史跡を巡るコースを一つの公園で7・8コース考え、同じコースを歩くことがないように工夫をしています。信号を渡る時には、一度に渡れる人数に区切って誘導したり、車などの接近を参加者に声をかけ注意するなど、安全対策にも気を使っています。

参加者からは、「家族から元気になったと言われた。自分自身でも元気になったことを実感している。」「仲間と歩くのが楽しいから、ウォーキングが習慣化した。」と声が寄せられています。

今後は、地域区民センターやケア24と協働して、区外を歩く講座も行いたいと考えています。お話を伺った理事長の児玉さんは、「自分たちの活動で、地域を元気にしたい。」「一緒に歩いて、元氣になりましょう。」と話してくれました。

私たちの力を地域のために

区内では、自分の住む杉並のため、さまざまな活動している方たちがいます。その中から4つのグループで活動する皆さんを紹介します。

みどりのボランティア「みどりのボランティア杉並南グループ」

みどりのボランティア杉並は、地域緑化に関するボランティア活動を始めようとする方を対象として、平成13年度に設立されたボランティアグループです。現在93名の方が、北と南のグループに分かれて仲間と一緒に区内のみどりを守り、増やし、育てる活動を行っています。活動内容は、いこいの森や向陽中学校の万葉植物園の維持管理、区主催のイベントへの参加、樹名板づくりなどです。

南グループの主な活動は、向陽中学校の農芸部のお手伝いや、同校にある「万葉植物園」(向陽中学校の創立40周年を記念して、学校・PTA・地域の協力で、万葉集に詠み込まれた植物を植えた植物園)の手入れです。

向陽中学校で活動を始めたのは、平成20年からです。きっかけは、向陽中学校の近くに住む2人の方が「万葉植物園」などの手入れを行っていたのですが、手が足りなくなり、みどりのボランティアに登録していた方に相談があったことが始まりです。

活動の一つである向陽中学校の農芸部のお手伝いでは、バレーボールコート跡地を畑にすることになり、中学校の農芸部員と一緒に畑の土作りから始めて、立派な畑を作り上げました。

お話を伺ったグリーンアドバイザーの畔柳さんは、「この畑で作った作物を生徒や保護者に差し上げると『とてもおいしかった。』と喜ばれるようになった。」と笑顔で話していました。

今、この畑には、ネギ・白菜・ブロッコリー・大根や、菊・スイセンなど、さまざまな野菜や花が植えられています。

取材に行った日は、向陽中学校正門横の花壇をきれいにしてほしいと校長先生から頼まれ、中学校の畑で栽培した「葉ポタン」や「パンジー」を花壇に植えていました。

「みどりのボランティア



▲南グループの皆さん(向陽中学校の正門横の花壇で。前列左から2番目の方が代表の畔柳さん)

杉並」の登録期間は最長4年間で、その後は、OBたちが作ったグループに所属したり、新たなグループを作るなど、みどりの活動に関わっていきます。

畔柳さんは、仕事で、下町に行った時に、細い路地にみんなできれいに花を植えて管理しているのを見て、「自分たちのまちもこのようになれば、もっと良いまちになる。行政がなんでもやるのではなく、自分たちで活動してまちをきれいにしていくといい。」と感じたといいます。また、「この活動の良いところは、『できる人が、できる時に、できることをやる』という無理のない範囲で活動ができることです。皆さんもぜひ、一緒にやりましょう。」と話してくれました。



▲畑で作業していると、栽培方法などを保護者からも聞かれます

中学生レスキュー隊「井草中学校」

杉並区中学生レスキュー隊は、中学生の防災意識と地域貢献意識の向上を図ることを目的に、部活動などの一環で中学生が活動する組織です。この活動は「杉並区教育ビジョン推進計画」に基づき平成17年度から開始され、22年度には区立中学校全校で組織されました。主な活動は、震災救援所訓練など地域の防災行事への参加や、消防署職員による講習の受講などです。

井草中学校の「中学生レスキュー隊」は、平成17年に組織され、現在32名の隊員が活動しています。活動に参加したきっかけは、「友達に誘われた。」「AED(自動体外式除細動器)の使い方を覚えてきた。」「大震災を受けて、地域に住む人の手助けが少しでもできればいいと思った。」などさまざまです。

防災行事や講習会などへの参加は希望制ですが、参加すると、三角巾を使用した応急手当など日々の生活でも役立つ知識を得ることができて、楽しくなり、出席率は毎回90%以上になります。

昨年、三谷小学校のPTAの方から、「児童にレスキューの技術を教えてほしい。」と依頼があり、井草中学校レスキュー隊の生徒が自ら、ぜひやりたいと返事をし、企画が実現しました。この企画は、生徒のやる気に引っ張られて成功しました。

三谷小学校での活動では、AEDの使い方・倒れている人の運び方・三角巾の使い方などレスキュー隊の生徒自らが、これまで学ん



▲三谷小学校の児童に搬送方法を教えるレスキュー隊の皆さん

だ知識のほか、さらにいろいろ調べて、どう説明するか、台本なども自分たちで考えて作りました。当日参加した児童や保護者からはとても感謝され、来年も行ってほしいと言われました。

レスキュー隊の活動とおしての感想を聞くと、「人の役に立つ、人を助けるということを考えるようになったことで、将来看護



▲教室に入ると「こんにちは!」と元気にあいさつしてくれた、レスキュー隊の皆さん

師になりたいという夢ができた。」「この活動に参加しているみんなも、入ってから震災にどう対処すればいいのか考えたと思う。地域の方やレスキュー隊に入っていない中学生も、震災や事故が起きた時に、どう対処したらいいか知識が無いと行動できないので、事前に考えておくことが大切だと思う。」と話してくれました。

先生は、「震災が起きた時、中学校は震災救援所になります。地域の人は中学校のどこに何があるか分からないが、中学生が学校のことを一番分かっているの、毛布の保管場所や、簡易トイレの場所を教えたりすることは活動の前提です。また、AEDの操作はすぐにできるレベルになっています。いざというとき、実践できるようになってほしいと思っています。」と話していました。

お話のグループ「三つのりんご」

図書館ボランティアの一つ、お話のグループは、子どもたちが読書に親しむ機会を広げるため、また、地域全体で子どもの読書を支えていくため、図書館をはじめ児童館などと連携して、おはなし会を開催しています。「三つのりんご」は語りを中心に、絵本の読み聞かせや手遊びなども入れておはなし会を開催しています。

「三つのりんご」は、中央図書館で行った素話の講習会の受講者が、昭和63年1月に立ち上げたお話のグループです。現在、創立当時のメンバーも含め12名で活動しています。

当初の活動場所は、地域区民センター2カ所でしたが、児童館や図書館の職員からおはなし会を依頼されるようになり、だんだんと活動場所が広がりました。今では、図書館・児童館・保育園・小学校・地域区民センターで活動しています。

おはなし会という、絵本の読み聞かせと思われるかもしれませんが、「三つのりんご」では、昔話などのお話を暗記して語る「素話」に重点を置いて活動しています。覚えたお話を、お互いに聴いて講評し合う勉強会を毎月1回行い、直してから、子どもたちに披露しています。「素話では、子どもたちは絵を見ずにお話を聴きながら頭の中で絵を描くので想像力がつくようです。また、子どもたちと対面して語ることで反応をじかに見ることができて楽しいです。」

「小学校でのおはなし会では、『子どもたちに聴く耳ができ、ほかの話も聴けるようになった。』と先生から言っていたこともあります。」といいます。

乳幼児が多いおはなし会では、お母さんにも覚えてもらえるように、家でもできる手遊びをしたり、お話がイメージできるように自分たちで描いた絵を見せながら話すなど、皆で工夫し



▲中央図書館でのおはなし会。手作りの指人形を操りながら歌を歌います



▲三つのりんごの皆さん

ながら行っています。

昨年10月に入ったメンバーは、「勉強会で素話を学び、以前から自分の住む杉並で何かできるといいなと思っていたら、勉強会の仲間から、おはなし会を行っているグループがあると聞き、見学に行き声をかけて入った。最初は敷居が高いと思っていたが、入ってみたらそんなことはなかった。」また、ほかのメンバーは、「始めたきっかけは自分の趣味だったが、お話を聞いたら、誰かに聞いてほしいと思うようになり、語ってみたい楽しくなった。道で会ったお子さんに、『おはなしのおばちゃん。』『三つのりんごさん。』と言われ、私も役に立っているのかなとうれしく感じた。」と話していました。「三つのりんご」の皆さんは、「興味のある方は、活動場所でメンバーに気軽に声をかけてください。」と話してくれました。

新春対談を放送します

今年、区内出身で現在サッカーJリーグ・FC東京で活躍する、田邊草民選手を招き、サッカーの魅力、杉並の思い出など、お話を伺いました。

【出演】田中良区長
藤本なおや区議会議長
田邊草民選手 (FC東京)

【放送局】ジェイコム東京 (デジタル11チャンネル)

【放映日時】1月1日(祝)・8日(日)=午後0時30分・6時・11時
▷2日(休)・4日(水)・6日(金)=午後3時・6時・11時
▷3日(火)・5日(木)・7日(土)=午前8時・午後6時・11時30分

◇田邊選手のプロフィール

21歳。区立杉並第九小学校、区立東原中学校、國學院大學久我山中学高等学校を経て、21年FC東京に加入。卓越したボールコントロール、切れ味鋭いドリブルで相手守備陣を翻弄する攻撃的ミッドフィルダーとして活躍しています。背番号は27番。



▲左から田中区長、藤本区議会議長、田邊選手

郷土博物館の新年行事

【場所】郷土博物館(大宮1-20-8) 【観覧料】100円。中学生以下は無料
【申し込み】当日、直接会場へ 【問い合わせ】郷土博物館 ☎3317-0841



新春吉例「大宮前囃子」

【日時】1月8日(日)午後2時～2時30分



大宮前囃子は、区登録無形民俗文化財の民俗芸能です。「獅子」・「大黒天」・「もどき」が登場する、お正月らしいおめでたい舞「獅子舞・大黒舞」を郷土博物館の古民家で上演します。舞を披露するのは、大宮前郷土芸能保存会の皆さんです。

年中行事「小正月のまゆだんごかざり」

【日時】1月9日(祝)～15日(日)午前9時～午後5時

※9日(祝)は正午から。10日(火)は休館です。



1月15日を中心とする小正月には、全国各地で農耕にかかわりの深い行事が行われます。区内では「まゆだんご」とよばれる紅白のだんごをかざり、蚕のまゆのよい出来や豊作を願う行事が行われてきました。郷土博物館でも小正月を祝い、古民家に「まゆだんご」をかざります。

1月4日(水)から粗大ごみの申し込み窓口が変わります

1月4日(水)から、粗大ごみの申し込み窓口が「粗大ごみ受付センター」に変わります。インターネット申し込みが使いやすくなりますので、ぜひご利用ください。

——問い合わせは、杉並清掃事務所 ☎3392-7281 / 杉並清掃事務所方南支所 ☎3323-4571 / 杉並清掃事業所 ☎3317-6771へ。

粗大ごみ受付センター

◇インターネットでの申し込み

http://sodai.tokyokankyo.or.jp/ (24時間受付)

※区ホームページの「粗大ごみの申込み」からもアクセスできます。

◇電話・ファクスでの申し込み

☎5296-5300 (毎日午前8時～午後7時 <年末年始を除く>)

FAX5296-7001 (24時間受付)

尾池亜美さんが国際コンクールで優勝しました

「広報すぎなみ」23年1月1日号で紹介した、区内在住のバイオリニスト・尾池亜美さんが、イギリスの「RNCMマンチェスター国際バイオリンコンクール」で、23年12月3日に見事優勝し、あわせて新曲賞を受賞しました。



▲尾池さんとマンチェスター市長(授賞式)

平成24年成人式

【日にち】1月9日(祝) 【場所】杉並公会堂(上荻1-23-15)

【内容】式典、記念アトラクション

【対象】区内在住で平成3年4月2日～4年4月1日生まれの方(該当する方には、23年12月中旬に案内状を送付しました)

【問い合わせ】児童青少年課青少年係 ☎3393-4760

〈成人式開催時間〉

時間	お住まいの地域(町名)
午前10時30分～11時30分 (10時開場)	阿佐谷北・阿佐谷南・梅里・高円寺北・高円寺南・成田西・成田東・堀ノ内・松ノ木・和田
午後1時～2時 (0時30分開場)	和泉・永福・大宮・上高井戸・久我山・下高井戸・高井戸西・高井戸東・浜田山・方南・宮前
3時30分～4時30分 (3時開場)	天沼・井草・今川・荻窪・上井草・上荻・清水・下井草・松庵・善福寺・西荻北・西荻南・本天沼・南荻窪・桃井

※お住まいの地域の時間にお越しください。

(発行日) 毎月1日、11日、21日

